

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(3月4日～3月15日の情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。3月4日から3月15日までに10283件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは6件でした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

1. 検査結果の抜粋(3月4日～3月15日の間に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島県	農産物	98	0	—	栃木県	農産物	40	0	—
	畜産物	681	0	—		畜産物	1348	0	—
	水産物	300	0	—		水産物	12	0	—
	牛乳乳児用食品	15	0	—		牛乳乳児用食品	9	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	36	6	イノシシ
	飲料水、その他	62	0	—		飲料水、その他	0	0	—
宮城県	農産物	102	0	—	群馬県	農産物	9	0	—
	畜産物	774	0	—		畜産物	593	0	—
	水産物	94	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	2	0	—		牛乳乳児用食品	2	0	—
	野生鳥獣肉	6	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	11	0	—		飲料水、その他	12	0	—
茨城県	農産物	39	0	—	千葉県	農産物	53	0	—
	畜産物	648	0	—		畜産物	173	0	—
	水産物	35	0	—		水産物	50	0	—
	牛乳乳児用食品	4	0	—		牛乳乳児用食品	1	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	1	0	—		飲料水、その他	5	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2018年 4月 1日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 4月 8日	98.5%	1.5%	0.0%
2018年 4月15日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 4月22日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 5月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月13日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月20日	98.0%	2.0%	0.0%
2018年 5月27日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 6月 1日	100%	0.0%	0.0%
2018年 6月 8日	98.4%	1.6%	0.0%
2018年 6月15日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 6月22日	99.1%	0.9%	0.0%

2018年 6月29日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月13日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 7月20日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月27日	100%	0.0%	0.0%
2018年 8月 3日	100%	0.0%	0.0%
2018年 8月17日	100%	0.0%	0.0%
2018年 9月14日	99.5%	0.5%	0.0%
2018年 10月 5日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 11月 9日	99.7%	0.3%	0.0%
2018年 12月7日	99.8%	0.2%	0.0%
2018年 12月14日	100%	0.0%	0.0%
2018年 12月21日	99.1%	0.9%	0.0%
2019年 1月11日	99.6%	0.4%	0.0%
2019年 2月 1日	99.7%	0.3%	0.0%
2019年 2月 8日	98.7%	1.3%	0.0%
2019年 3月 1日	99.7%	0.3%	0.0%
2019年 3月15日	99.7%	0.3%	0.0%
2018年2月平均	98.9%	1.1%	0.0%

基準を超えた沿岸魚はみつきりませんでした。これで187週連続(3年)となります。福島県の293検体の水産物(海洋)が検査されました。今週の結果で、放射性セシウムが検出された魚介は1検体でした。

1検体はいわき市のコモカスベ(16 ベクレル/キログラム)でした。

(2)検査について基準を超えたものについて

①栃木県で捕獲された野生鳥獣について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 栃木県那珂川町:イノシシ(140,130,220,130,130,110 ベクレル/キログラム)

栃木県で捕獲されたイノシシについては、すでに出荷制限措置がとられているため市中には出回っていません。

(3)京都の空間線量(3月4日～3月15日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.034～0.041 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.044～0.063 マイクロシーベルト/1時間と

なっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は0.11 マイクロシーベルト/1時間(1メートル地点は0.14 マイクロシーベルト/1時間)となっています。福島県で空間線量が一時的に0.086 ベクレル/キログラムとなった日もありました。これは、日本でも空間線量が高い、山口県とほぼ同じ値です。ただ、過去の平均は0.038～0.046 マイクロシーベルト/1時間(2.5メートル地点)となっておりまだ高い空間線量となっています。

3. 関連情報

(1) 『2018年度家庭の食事からの放射性物質摂取量調査結果について(日本生協連)～全国18都県で調査5年連続すべて不検出～』との報告がありました。

詳しくは、下記のURLにて紹介されています。

https://jccu.coop/info/up_files/release_190306_01_02.pdf

以上